

「消化器癌に対する術中 ICG 局注赤外線内視鏡観察による術中リンパ節、リンパ流評価の有用性についての研究」

2022 年 5 月までに当施設において消化管癌（胃癌、大腸癌、食道癌）の手術を受けられる患者さんを対象に、ICG（インドシアニングリーン）を用いて術中にリンパの流れやリンパ節の転移経路の評価を行います。本研究の目的は、消化管癌手術症例においてリンパ流とリンパ節転移経路の解明、および過不足ないリンパ節郭清領域範囲の決定をめざして、ICG によるリンパ流観察とリンパ節転移の評価を行うこととあります。得られた試料・データは匿名化の後に解析・保存され、個人情報研究組織から外部へ提供することや、研究の目的以外に使われることはありません。本研究は京都大学医の倫理審査委員会にて審査を受け、病院長の許可を受けて行っています。（研究担当：河田健二、小濱和貴、岡田和幸、木下裕光）

研究機関：京都大学医学部附属病院 消化管外科

研究責任者：小濱和貴

問い合わせおよび相談窓口：京都大学消化管外科医局（075-751-3111）または京都大学医学部附属病院 経営管理課 研究推進掛（075-751-4899；E-mail: trans@kuhp.kyoto-u.ac.jp）